

最終報告会を終えて 審査員のコメント

審査委員
のみなさん

委員長 中野 泰志
慶應義塾大学教授
副委員長 饗庭 伸
首都大学東京 准教授
関 和子
NPO法人練馬ぼろぼろん副理事長
林田 道子
親教育講座ファシリテーター
NPO法人JAM ネットワーク副理事長

仲倉 重郎
練馬区身体障害者福祉協会副会長
山岡 正義
東京商工会議所練馬支部総括相談役

室地 隆彦
練馬区まちづくり調整担当部長
榎本 博夫
練馬区 福祉部長

このまちづくりの審査に関わってから、練馬区というまちをいろんな人に紹介するようになりました。区民と行政と一緒にいながら、まちづくりを進めていくというのはとてもおもしろいものです。また、このような公募制度の中でいろんなアイデアがでて、さらにそのアイデアがいろんな交流を通して育っていていることは、とてもうらやましいなという思いで参加していました。この場に参加している人も多様になってきています。様々な人がここに来て、活動を広め合ったりできるようになっていくことが大切ですし、このようなものを子どものころから見ているというのは、大変楽しみです。

いろんな人が区内にいて一緒にまちづくりをしていることの基本に立ち返っていただき、多様性があるということを確認されるまちづくりを続けてほしいです。いろんな気づきと発見を、次の世代につなげていかないと消えてしまう可能性があると思います。そのような意味でも次は若い人をもっと増やしてほしいと思います。まだこの事業や活動を知らない人も多い。一番広がるのが口コミです。皆さんもこのような活動を広く紹介していただき、助成をとるのとはべつとして、多くの方がこのような場にきてほしいと思います。

私はずっと「気づき」をテーマにまちづくりに関わってきました。私の好きな哲学者林竹二さんは「学んだことのたった一つの証は変わることである」という言葉を残されています。私たちはここで非常に多くのことを学びました。これを頭の中だけに置いておくのではなく、これからの私たちの活動の中で、自分の行動を変えらることで、ぜひまわりに広げていっていただければと思います。



委員長 中野 泰志
慶應義塾大学教授



副委員長 饗庭 伸
首都大学東京 准教授

今日は皆さんのご報告を聞き、2つお伝えしたいことがあります。まずは、皆さんの活動について区内全域で活動の展開を目指すのが、ひとつの地域にこだわるのかをぜひきちんと考えていただきたいと思います。練馬区での話ではないのですが、例えば町会に反対されたり、人間関係がこじれたら、区内全域で活動を展開したがるという傾向がよくあります。これは地域の中で乗り越えていかなければならない壁です。ぜひある地域の中でこだわってやるということをやっていたら、その上で戦略的に全区的に広げていくなど議論をしていただけたらと思います。

もう一つは例えばベンチの話で、メンテナンスがいらないものをポンと置くのが、手作りで中途半端なものでもいいので、それを作ったり、世話をしたりそのプロセス自体を楽しむかという違いです。「まちづくり」というのは基本的に、きれいな地図を作ったり、きれいなベンチを作ったり、きれいな花壇を作るのが最終目的ではなく、それを作るプロセスをどれだけ豊かに楽しむかということがまちづくりの真髄であると思います。来年度はそのプロセスの楽しみ方を提案していただければ、我々も非常に刺激を受けます。今後ともよろしくお祈りします。

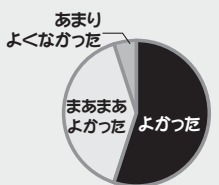
(文責：地域福祉課)

会場の声

1. 報告会について

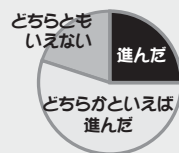


①最終報告会の進め方について

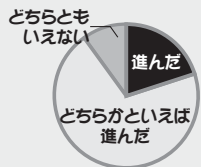


②各グループの報告について

2. この助成事業について

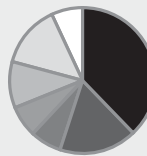


③各区民グループの活動について、練馬区の福祉のまちづくりが進んだと感じますか



④この事業によって、区民と行政の協力が進んでいる

3. 来場のきっかけ (複数回答)



- 助成グループ関係
- 福祉のまちづくりのとりくみに関心
- 助成制度に関心
- 区民と行政の協働のとりくみに関心
- 知人に誘われた
- 区報を見た
- その他



- ・区民と行政の協働事業なのでとても良いと思いました。今後も色々な方(区民)に参加してほしい。行政もPRポスターなどで声掛けが必要かもしれません。
- ・各参加団体への助成額の発表をしてほしかった。費用対効果の評価ができない。公費助成事業なので決算書を添付してほしい。
- ・福祉活動は継続してこそ徐々に効果が発揮されるものと考えます。
- ・年を追うごとに充実した内容に持っていくことを望みます。
- ・各グループ短時間で上手にプレゼン出来ていたと思います。こうしたことから「実力のある活動」が広がっていくと感じました。

福祉のまちづくりパートナーシップ区民活動支援事業とは…

「福祉のまちづくり総合計画」を、区民と区のパートナーシップで推進することを目的とした事業です。すべての人がともに生活できる空間を整備することや人と人の相互理解を深め社会のネットワークづくりを進めるためには、区民の皆さまと区が協働して取り組むことが不可欠です。より多くの区民の皆さまが、参加する機会を地域で広げていく取り組みを進めます。



平成20年度の企画提案募集は

平成20年5月10日(土) までです!

「ふくまち」のお問い合わせ

練馬区健康福祉事業本部福祉部地域福祉課

TEL (3993)1111 (代) FAX (5984)1214
ホームページ http://www.city.nerima.tokyo.jp/shogaisha/fuku_machi/index.html